

# 市橋まち協だより

令和5年2月1日発行  
第9号発行  
市橋まちづくり協議会

## 市橋ふれあいフェスタ（11月）

11月20日(日)雨も心配された『令和4年度市橋ふれあいフェスタ(健幸ウォーク)』が行われました。「市橋のよさにふれ、地域の関心を深める」「小学生、地域住民の一体感を醸成する」「健康増進を図る」の3つをめあてに実施され340名の方の参加がありました。市橋小3年生と市橋小野球部、一般の方が参加し、24グループに分かれ全10問の市橋・県庁に関する問題を解きながらのウォークラリーになりました。閉会式では問題の解説付きで答え合わせを行い、難しい問題もありましたが多くのチームが全問正解できました。参加者の方は、今回の健幸ウォークを通して市橋・県庁の良いところを発見できたのではないのでしょうか。



### 子ども達の感想

県庁について新しいことがわかって勉強になった。  
グループのみんなと相談して答えを出すのが楽しかった。  
グループのみんなと話しながら歩いたのが楽しかった。



# 防災教室

1月21日（土）市橋公民館において、市橋在住 岐阜大学 社会システム経営学環 高木朗義 教授（市橋在住）をお招きし「防災・減災について考えよう」－災害から命を守るために－をテーマに防災教室を開催いたしました。

講師の高木朗義さんは、「誰もが主体的で協働して皆が幸せに暮らせる社会を創る」を目指して教育研究され、幅広く活動されています。その中でも、災害に強い地域づくりのために、「アプリ減災教室」や「トランプ&ビンゴ減災教室」を開発されたり、日テレ系「世界一受けたい授業」や NHK岐阜「まるっとぎふ」、ぎふチャン「高木先生と親子で学ぶ防災・減災」など数多くのテレビ番組に出演されるなど、積極的に発信されています。

高木教授から過去の地震状況、今後起きるであろう南海トラフ地震について、そして減災教室ワークシートを使いワークを実施し、その中の「地震から命を守る」「地震直後の対応」「災害から命を守る近所づきあい」3つの項目で話を聞きました。

「地震から命を守る」では過去の震災では、昭和56年より前に建築した建物の倒壊が多いので、古い建物は耐震補強をするべきであり、岐阜市も耐震補強に対して補助制度があるのでぜひ利用してほしい。また家具の倒壊により被害に遭われる方が多いので家具は転倒防止、家具の配置変更をしてほしい。

「地震直後の対応」では震災が起きた場合、避難所生活も大変なので自宅で過ごすにはカセットコンロがあると良く、そのコンロを使ってお湯やお米を炊くと良い。火が使えない場合のカップラーメンの戻し方「カップラーメンに水を入れ30分放置、水を切り、スープ1/3入れ、ごま油を入れると油そば」の豆知識も教えていただきました。

「災害から命を守る近所づきあい」では自治会・民生委員・各種団体・防災士が連携して継続して防災訓練・防災教育をしていく必要性がある。

岐阜市は50年以上地震を体験してませんが地下ではエネルギーが蓄積され、いつ地震が起こってもおかしくない状況です。参加者の皆さんまた地域の皆さんが震災に遭っても身を守れる行動が日頃から大切です。ぜひ今日から震災対策を考えましょう。

高木教授の笑いを交えながらの説得力のあるお話ありがとうございました。

